

土庄町
TONOSHO
town

グランドデザイン

概要版



土庄町グランドデザイン 概要版

発行日：令和2年3月

発行：土庄町企画課

〒761-4192

香川県小豆郡土庄町甲559番地2

令和2年3月



グランドデザイン策定の背景、目的

今後、さらなる人口減少と高齢化の進展が見込まれる中、土庄町では公共施設の統廃合等を実施し、行政サービスの効率化、最適化を進めています。一方で、これらにより、既存公共施設の遊休化が生まれており、その有効活用が検討課題となっています。

このような中で、本町の特性を活かした魅力的なまちづくりを進めるには、中・長期的な観点から町の将来像を見据え、官民が取組むべきことを共有しながら、面的に展開することが必要です。

そこで、中・長期的視点（概ね 10 年後から 30 年後まで）で、土庄町の目指すべき将来像とその実現に向けた施策等を示すグランドデザインを策定します。これは、町政の経営方針を定める最上位計画である総合計画等を検討する際の指針となるものです。

土庄町全体の現状と課題

グランドデザインを策定するうえで、以下の 5 つの課題を踏まえた検討を行っています。

課題 1	課題 2	課題 3
人口減少、高齢化に伴い、安心して住み続けられる生活環境を維持することが難しくなっていくことが見通されます。	若者層、子育て層などの転入者が、町への定着に難しいケースがあります。	観光関連産業が中核となる産業ですが、地域経済の成長にはその規模を拡大していく必要があります。
課題 4	課題 5	
人口減少に伴い、歳入の減少が見通されます。一方で、高齢化の進展に伴い、歳出においては扶助費の拡大が見通されます。	土庄地区、淵崎地区の遊休施設、遊休地の有効活用が必要です。	



目指すべき将来像

交流と生活安心のまち

土庄町は、今後さらなる人口減少、高齢化を迎えますが、そのような厳しい環境の中でも、町民が生まれ育った町や地区で住み続けられる生活環境を確保していくことを目指します。また、町民アンケートでは、将来に期待する姿として、「安心安全」とともに「生活」「健康」「福祉」「個性」「多様性」などが期待されており、最低限の生活環境を維持することだけを目的とするのではなく、そこで暮らすことの喜び、楽しみ、誇りを得られ、生活の質を高めることができる生活環境を形成することを目指します。

また、町民が安心して住み続けられ、かつ質の高い暮らしを得るには、生活する場と働く場の確保が重要になります。土庄町は、観光関連産業を中心とした産業構造となっていますが、町民所得の水準は全国と比べても低く、より経済面での成長と安定性が求められます。そこで、地域特性を十分に生かして収益性の高い観光関連産業や生産

性の高い農漁業などの成長・拡大を目指します。

このような生活環境と地域産業を形成していくため、積極的に町外から新しいリソースを取り入れます。

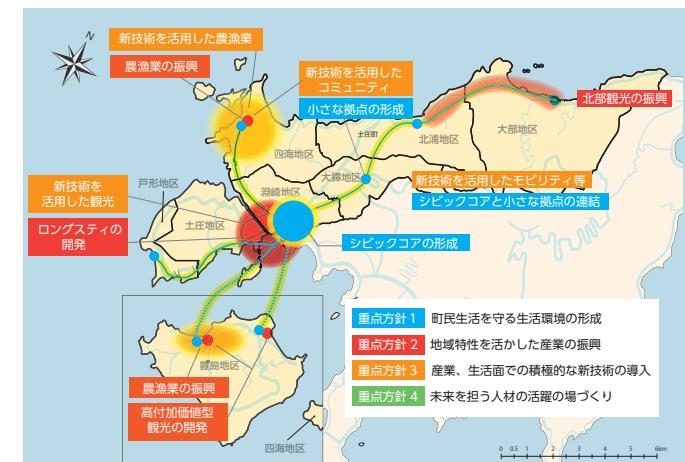
一つは外部人材です。土庄町は、瀬戸内国際芸術祭等による地域のブランド化の効果により、町外からの若年層の転入者が増加しており、それらの人々が地域産業や地域活動等の担い手となっています。これをさらに進め、国内外から豊かな人材が集まり、その人材が新たな活動にチャレンジできる場となることを目指します。

もう一つは、新技術です。今後 30 年間を考えたときに、社会問題の解決において省力化や高度知能・技術に資する IoT や AI、ロボットなどの新技術の活用は必須になると考えられます。このような新技術を積極的に活用し、効率的かつ効果的な生活環境や地域産業の実現を目指します。

4 つの重点方針

目指すべき将来像を 4 つの重点方針に基づき推進します。

重点方針のゾーニング



重点方針1

町民生活を守る生活環境の形成

今後のさらなる人口減少、高齢化を迎える厳しい環境の中でも、町民が安心して住み続けることができ、かつ質の高い暮らしを実現するためには、町民生活に必要な施設を厳選し、適正に配置していくことが必要になります。そこで、町全体として必要な施設を土庄地区と淵崎地区に集約するとともに、各地区の生活において必要な基礎的な施設を地区ごとに配置します。つまり、シビックコアと小さな拠点を整備し、コンパクト＆ネットワークの都市構造を形成します。このシビックコアは、町民の業務や生活、福祉、教育などを支える拠点となり、小さな拠点は地区住民の生活を支えるための基礎的な拠点となります。また、シビックコアは小さな拠点のハブ機能（地域と地域をつなぐ役割）となり、

小さな拠点の維持運営を支えます。

また、町民が安心して住み続けることができ、かつ質の高い暮らしを得るには、ダイバーシティマネジメントを取り入れ、コミュニティ力を高めることが必要です。そのためには、各地区での転入者の受け入れを強化とともに、コミュニティ活動を推進していきます。公共交通サービスに頼るだけではなく、共助・自助を確立していくように、地区ごとに住民の自発的な取組を積極的に支援します。さらに、コミュニティ運営に係る新技術（AI、IoT等）を積極的に取り入れ、どの地域でも効率的で利便性の高い生活を送ることができるように生活環境を整えます。

町民生活を支えるシビックコアの形成

- 行政機能の集積
- 生活支援機能の充実
- 民間サービスの充実

地区の生活を支える小さな拠点の形成

- コミュニティセンター機能の強化
- 新たなコミュニティ運営の導入
- コミュニティを支える新技術の導入
- コミュニティを担う人材誘致、育成
- 地域に伝わる伝統文化の保存、継承

人材の誘致

- (重点方針4に記載)

重点方針2

地域特性を活かした産業の振興

土庄町の経済成長と町民の安定した雇用確保のために、地区の特性を活かした産業振興に取り組みます。

まず、本町の主要産業である観光関連産業の振興を図ります。そのために、新たな観光資源の開発及び観光客に快適さや利便性などを提供する観光インフラの整備、推進体制の整備等を進めます。地区別には、土庄地区では多様な働き方（ワーケーション等）や産学連携などに対応する滞在型交流の拠点を、北浦地区と大部地区では既存資源を活かしたアウトドアレジャーなどの観光振興を、豊島地区では国内外の中高

所得層をターゲットとした付加価値の高いサービスを提供する観光地を目指します。

次に、各地区に根差した産業として農漁業等の振興を図ります。特に、オリーブ、いちご、みかん、海苔、小豆島オリーブ牛、小豆島島體をはじめとする特産品など、これらの収益性向上に向けて、6次産業化の推進を支援します。また、地区別には、四海地区では、豊かな地域資源を活かした農漁業の振興とともに、アグリパーク化の取組など、農漁業を通じた交流の拡大にもつなげます。

観光関連産業の振興

- 新たな観光資源の開発
- 観光インフラの充実
- ロングステイ観光の開発
- 地域が一体となった観光地づくり

農漁業の振興

- 6次産業化の推進
- 地域ブランドの強化

人材の誘致、育成

- (重点方針4に記載)

関係人口の創出

- (重点方針4に記載)

重点方針3

産業、生活面での積極的な新技術の導入

土庄町で安心して住み続けられ、かつ質の高い暮らしと地域産業の振興を実現するために、IoTやAI等の新技術の導入を積極的に推進します。生活面では、人口減少や高齢化が進展する地区においても、住み慣れた地域で安心して住み続けられ、かつ利便性や快適性を高めるような生活環境を形成するために、移動や買い物、コミュニケーション、福祉などを支援する新技術の導入を進めます。

新技術の導入による生活環境の維持

- 新技術を活用した保健福祉サービス
- 新技術を活用した交通、物流の整備

新技術を活用した産業振興

- 新技術を活用した観光業の振興
- 新技術を活用した交通、物流の整備

新技術を活用した公共サービス

- 新技術を活用したインフラ管理
- 新技術を活用した行政事務

重点方針4

未来を担う人材の活躍の場づくり

土庄町の未来を担う人材を育成、確保するために、国内外の人材が新たなチャレンジできる場づくりを目指します。意欲的な人材が町内の豊かな地域資源を活かしながら、起業や産業振興、地域活動に取り組むことを積極的に支援します。

そこで、町民及び他地域の若者に対して魅力的な学校教育を実践し、未来を担う人材を育成するとともに、ダイバーシティマネジメントを取り入れ、国内外の若者等の意欲を持つ人材を誘致し、新たな産業や地域活動などを構想・実践できる環境の提供を目指します。

魅力的な教育の実践

- 魅力的な教育の実践
- 時代に対応した多様な教育の推進
- 地域で一体となった教育
- 生涯学習の充実
- 産学連携の推進

人材の誘致、育成

- 観光業人材の誘致、育成
- 農漁業人材の誘致、育成

関係人口の創出

- 地域人材の誘致、育成
- アート人材の誘致、育成



